

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>【上位目標】</p> <p>ミンダナオ島ピキット・マリダガオ河沿い地域において、紛争被害に遭った子どもたちの初中等教育環境を向上させ、草の根レベルでの平和を定着させること。</p> <p>(達成度とその理由：<u>90%達成</u>)</p> <p>ハードコンポーネントでは、直接的に495名の小中学生の教室が整えられたとともに、ソフトコンポーネントによる「平和の学校」の研修が概ね順調に実施し、参加者の行動の変化を見ることができた。ただし、一部小学校低学年の理解度に、目標を達成しない部分があったため、90%とした。</p>
(2) 事業内容	<p>【ハードコンポーネント】</p> <p>(イ) ヌグアン中学校(ダトゥ・エンバック・マガンシン・メモリアル中学校)の新築1棟3教室の建築と備品整備</p> <p>(ロ) バラバック小学校の1棟2教室の改築と備品整備</p> <p>(ハ) バラティカン小学校の2棟6教室の改築と備品整備</p> <p>活動内容</p> <p>上記、中学校1校3教室の新築、小学校2校8教室の改築、そしてその教室の椅子や机、黒板等の備品整備を行った。活動は、申請書の通りに順調に進められた。</p> <p>【ソフトコンポーネント】</p> <p>(ニ) 「平和の学校」(SOP:School of Peace) 準備活動</p> <p>(ホ) 「平和の学校」(SOP:School of Peace) 研修</p> <p>(ヘ) 「ミンダナオ子ども議会」の開催</p> <p>活動内容</p> <p>以下、ソフトコンポーネントの3つの活動に関しても、予定通り、順調に進められた。</p> <p><u>(ニ) 「平和の学校」(SOP:School of Peace) 準備活動</u></p> <p>3つの地域のリーダー、5つの小学校と2つの中学校の生徒及び教師計151名を対象に実施した。</p> <p><u>(ホ) 「平和の学校」(SOP:School of Peace) 研修</u></p> <p>－小中学生対象： 「平和の学校」の概念や「紛争解決法」等に関する研修を、小中学生538名に計19回実施し、延べ839名が参加した。</p> <p>－教師対象： 「平和の文化」や「紛争を経験した子どもへの心のケア」等に関する研修を、教師43名に計6回実施し、延べ207名が参加した。</p> <p>－地域リーダー対象： 「地域が抱える争いの解決方法」等に関する研修を、地域リーダー43名に計6回実施し、延べ205名が参加した。</p> <p>－子ども、教師、地域全体を対象： 「平和の学校」宣言式を開催し、子ども、教師、地域住民約500名が参加した。</p> <p>－平和の学校を対象：</p>

	<p>昨年度のフェーズ 1 で「平和の学校」となったティヌトゥラン村の小中学校において、これまでの平和活動を振り返る研修を、子ども、教師、地域リーダー 25 名に計 2 回実施し、延べ 33 名が参加した。</p> <p>(へ)「ミンダナオ子ども議会」の開催</p> <p>ミンダナオ各地の生活や文化の違い、地域の課題について話し合う「ミンダナオ子ども議会」を開催し、ミンダナオ島の 11 の異なる先住民の子ども 33 名が参加した</p>
(3) 達成された成果	<div data-bbox="533 584 1426 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【効果 1】</p> <p>ヌグアン中学校、バラバック小学校、バラティカン小学校の約 400 名の子どもたちの教育環境が整えられている。</p> </div> <p>(指標 1) 事業終了時、同校の 400 人以上の子どもたちが、雨漏りがしない校舎で、自分の机と椅子を使用し、学ぶことができている。</p> <p>(達成度とその理由) <u>100%達成</u></p> <p>申請時、ヌグアン中学校では、竹製の教室しかなく、雨の日には授業を中止せざるを得ず、またトイレもなかったため、衛生面での問題もあった。しかし、コンクリート製 2 教室とトイレの建築により、天候にかかわらず所定の授業を行うことができるようになり、衛生状態も改善された。事業を契機に、生徒数は 172 名から 212 名に、教師数も 5 名から 9 名に増加している。教育省は、増加する生徒に対応するために、教育省予算により、追加で 4~6 教室を建設することを検討している。</p> <p>同様に申請時、老朽化が激しく、雨漏りをしていたバラティカン小学校、バラバック小学校においても、改築と備品の整備により、授業の中断はなくなり、生徒数は、それぞれ、236 名から 265 名へ、317 名から 377 名へと増加し、教師数も、8 名から 9 名、7 名から 9 名に増員した。</p> <p>本事業により、直接的には、3 校 495 名、上記波及効果を含めると、853 名の児童の教育環境が整えられた。今後も、教育省による教室整備が進むことで、就学生徒数は増加していることが見込まれる。</p> <div data-bbox="533 1644 1426 1778" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【効果 2】</p> <p>ヌグアン村、バラバック村、バラティカン村にある小学校と中学校が、「平和の学校」宣言を行っている。</p> </div> <p>(指標 2) 同校において、宣言式が行われ、且つ教育省から「平和の学校」証明書が発行されている。</p> <p>(達成度とその理由) <u>100%達成</u></p> <p>2013 年 9 月 18 日に、ヌグアン中学校を会場に、対象の 6 校共同で「平和の学校」宣言式が行われ、コタバト州知事、ピキット町長、関係 7 村の村長、国際停戦監視団 (IMT) 代表、日本大使館代表、教育省第 12 地区事務所代表、教育省コタバト事務所所長、</p>

	<p>ピキット地区 MNLF 代表、MILF 代表 (バンサモロ開発庁地域所長)、フィリピン国軍 CCCH 代表等の来賓を前に、宣言文への署名が行われた。</p> <p>本式典は、MNLF がザンボアンガ市における占拠事件を起こしている最中に行われたが、実施団体の呼びかけのもと、国軍側 CCCH の代表と MNLF、MILF 等の通常敵対している勢力の地域代表者が「地域の平和と子どもの教育」という共通の目的のもと一同に集まり、それぞれが平和を呼びかける貴重な機会となった。</p> <p>【効果 3】 500 人以上が暴力に頼らない争いの回避方法を知っている。</p> <p>(指標 3) 研修終了時のアセスメントシートにおいて、500 人以上が暴力に頼らない争いの回避方法を回答している。</p> <p>(達成度とその理由) <u>85.8%達成</u></p> <p>低学年への研修の際に、内容が高度となりすぎて、目標を達成することはできなかったが、429 名が暴力に頼らない争いの回避方法を習得することができた。教師からは、「校内での喧嘩等の争いが減少した。」「生徒たちが自主的に話し合い、問題を解決することが多くなった。」「親が銃を持って学校に怒鳴り込んでくることがなくなった。」等の生徒の変化について報告があった。フェーズ 3 において、低学年への研修を行う際は、ワークショップをより多く活用する等工夫をすることで、理解度が増すと思われる。</p> <p>【効果 4】 30 名以上の子どもが、ミンダナオのビジョンを表現し、それに向かって取り組む用意が出来ている。</p> <p>(指標 4) 30 名以上の子どもたちが、「ミンダナオ子ども議会」の中で将来のミンダナオの姿について発表し、具体的な行動計画をつくることのできている。</p> <p>(達成度とその理由) <u>100%達成</u></p> <p>33 名のミンダナオの子どもたちが、「ミンダナオ子ども議会」において、ミンダナオについてともに考え、自分たちが抱えている課題について具体的な行動計画をつくることのできた。それによって、子どもたちは、多様な文化を持つ異なる民族であっても、同じミンダナオの子どもとして、同じ課題を抱え、同じ夢を共有していることを実感できた。そして、ミンダナオの平和を創っているのは自分たちであるとの自覚が芽生えた。</p>
(4) 持続発展性	<p>【ハード面】 本事業の初年度と同様に、教室や備品の維持管理は、当法人と教育省および対象 3 校の間で取り交わされた「引渡し協定書(Deeds of Donation)」に基づき、教育省と学校が予算措置を行う。使用状況については、当法人が事業終了 5 年間にわたりモニタリングを行う。</p> <p>【ソフト面】</p>

	<p>各学校の「年間活動計画書 (Annual Implementation Plan)」には、「新任教師に対する平和の文化についてのオリエンテーションの実施」、「平和教育授業案の活用」、「教室内での平和コーナーの設置」、課外活動としての「平和キャンプの実施」など等の「平和の学校」に資する学校活動が盛り込まれており、これによって、持続性が担保されることが期待されている。</p> <p>尚、フェーズ 1 で「平和の学校」となったスルタンメモリアル中学校では、フェーズ 2 実施中の本年度以下の活動を独自に展開しており、その波及効果を見ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none">－2013 年 9 月 19 日「平和の学校」1 周年記念式典の実施。－9 月 17 日～19 日「ピースキャンプ」実施 (平和のポスターコンテスト、平和の歌作曲コンテストなど)。－課外活動グループ Peace Club の組織化。－校舎の隣に Peace Garden 設置。(Peace Club のメンバーが管理)－各教室に Peace Corner 設置 (対話用の机と椅子、平和メッセージの展示版がある)－月 1 の朝礼での生徒による 5 分間平和スピーチ。(既に 300 名参加)－職員室に、平和の学校認定書とこれに至る経過写真を展示。 <p>申請団体は、フェーズ 2 の研修の効果についても、事業終了後 5 年間はモニタリングを行うとともに、随時フォローアップしていく。</p>
--	---